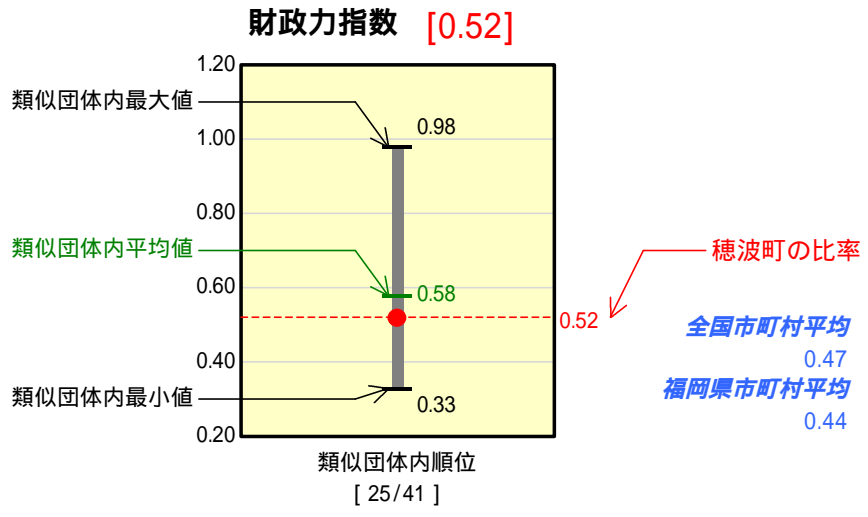


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

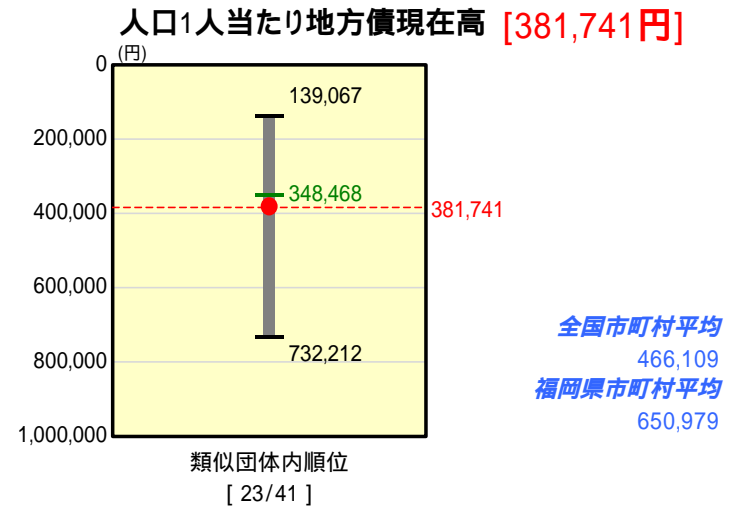
## 福岡県 穂波町

人口	26,251 人(H17.3.31現在)
面積	25.23 km <sup>2</sup>
歳入総額	10,470,052 千円
歳出総額	10,191,658 千円
実質収支	246,051 千円

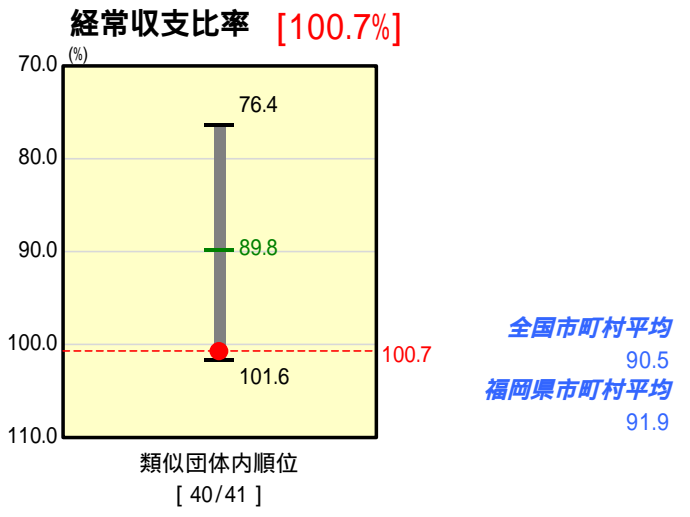
### 財政力



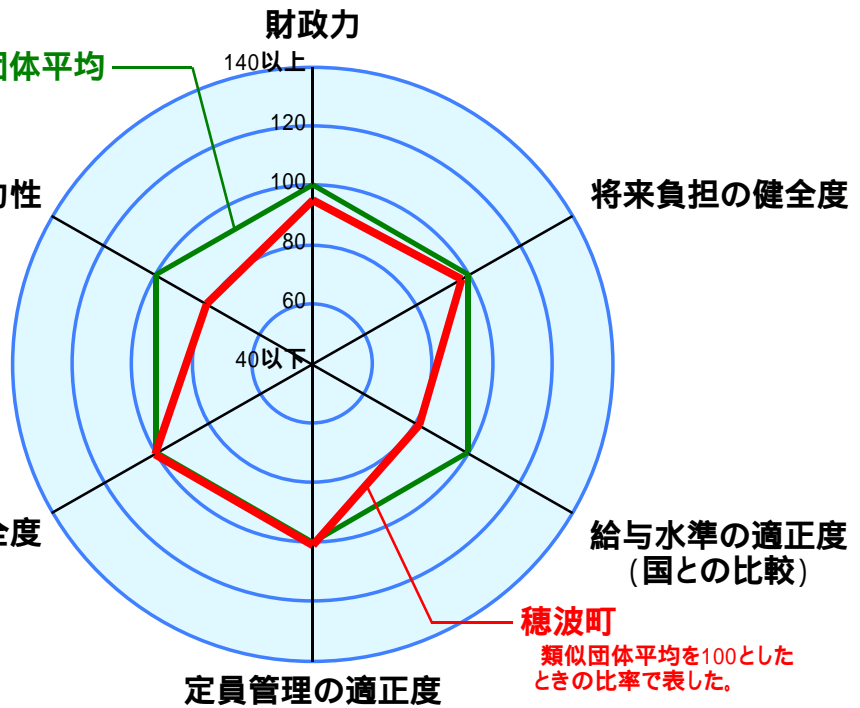
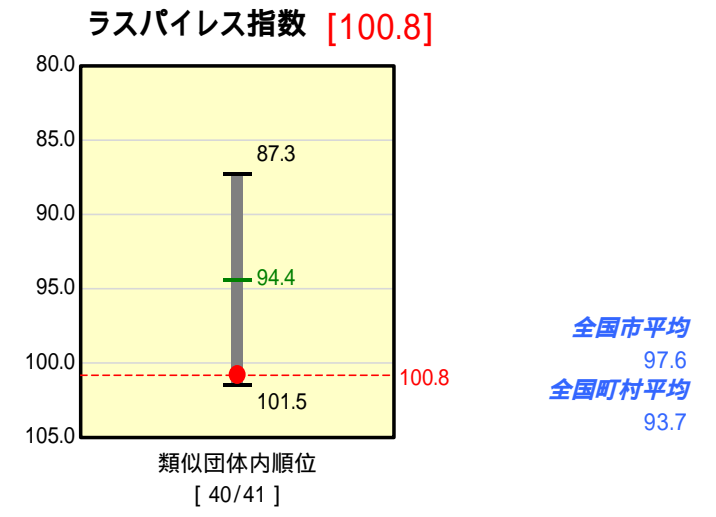
### 将来負担の健全度



### 財政構造の弾力性

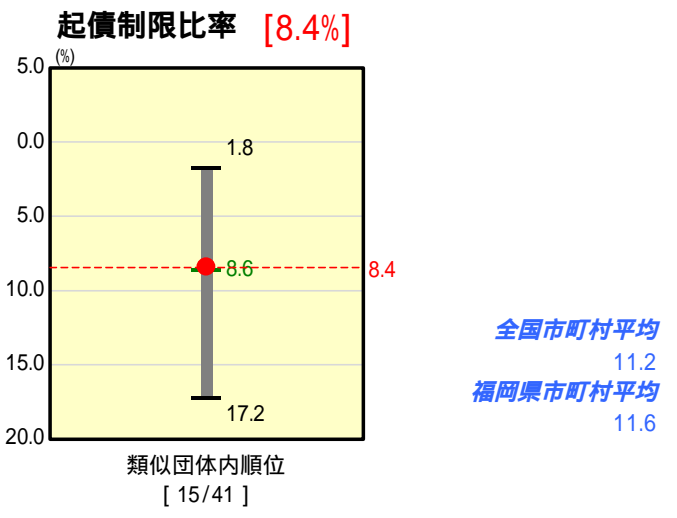


### 給与水準の適正度(国との比較)

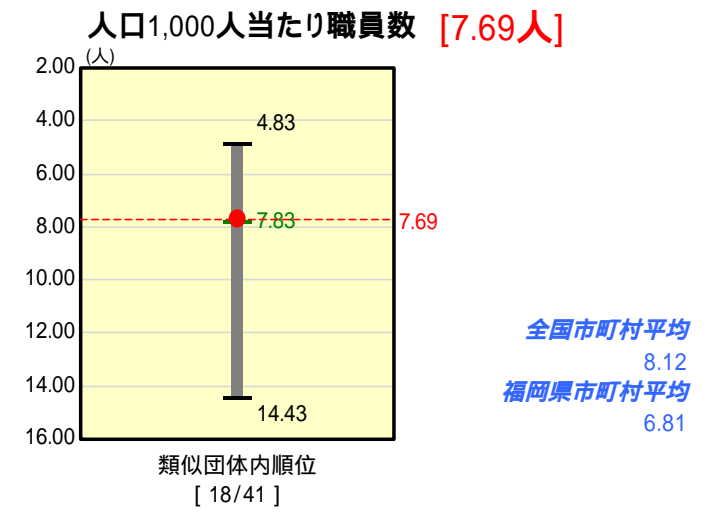


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



**分析欄**

**財政力指数**  
国道バイパス沿線への大型商業施設等の進出により、平成9年度から固定資産税が2億円(約16%)ほど増加しており、類似団体平均より低位にあるものの、全国平均及び県平均は上回っている。

**経常収支比率**  
平成13年度の84.5%から上昇を続け、平成16年度に100.7%となった。他の自治体と同様に国の三位一体の改革等による地方交付税の削減など経常一般財源の減少がまず要因としてあげられる。歳出では、平成9年度から行財政改革に取り組んでおり、人件費等にその効果が見られるものの、高齢化社会を反映した扶助費の伸びや公債費の伸びが大きく、経常収支比率の上昇を抑えきれない状況となっている。

**起債制限比率**  
公債費では、近年の大型整備事業の実施により地方債残高が100億円を超え、起債制限比率等も上昇傾向にあるが、類似団体平均や全国平均値と比較すると低位にある。平成18年度で大型事業も終了することから、今後は新規発行債の抑制を行い、財政の健全化に努める。

**人口1人当たりの地方債現在高**  
近年の大型事業実施により増加傾向にあるが、類似団体平均より若干多いが、全国平均や県平均と比較すると低い状況である。

**ラスパイレス指数**  
給与体系の見直しが遅れていることから、全国的にも高い賃金水準となっている。職員数の削減によって、人件費の上昇をおさえてきたものの、今後は地域民間企業の平均給与との状況を踏まえ、抜本的な見直しを行い、給与の適正化に努めなければならない。

**人口1,000人当たり職員数**  
平成9年度から職員数の1割削減(25名減)に取り組んできたが、現状では目標値を超え、29名の減少となっている。今後は、合併による効果を最大限いかしながら、より一層のスリム化を図りたい。